

令和6年度

半田小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①基礎基本の定着を図る学習方法の改善
- ②わかる・できる・楽しい授業を通して、自ら考えてみようとする児童の育成
- ③進んで学習に取り組む児童の育成

学力向上検討委員会構成

| | | |
|---------|----|----|
| 学力向上推進員 | 委員 | 校長 |
|---------|----|----|

【各校の取組状況の把握について】

管理職の授業参観や互いに授業参観を行い、取り組みの状況把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|---|---|---|---------|----------|-------------|
| ○算数の四則計算や国語の漢字の読み書きにおいては、定着率が高い。 ●計算の意味を考えて立式したり、漢字を文の中で正しく使ったりすることが課題である。 ●自分の考えを書く力や問題を読み取る力に課題があり、意見文を書くことや記述問題が苦手である。 | ①速く正確に計算したり、漢字を文章を書くときに正確に使ったりと学習の基礎基本の定着ができていく。 ②正しく文章を読み取るとともに語彙を増やし、適切な言葉を用いて文章を書くことができる。 | ①漢字ミニテストやドリル学習で反復学習を行い、復習する機会を増やす。 ②日記指導を行い、チャレンジタイムでは、語彙力アップのプリントや記述する問題に挑戦させる。 | | | |

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|--|--|--|---------|----------|-------------|
| ○自分の気持ちや考えを表現する力が高い児童が多い。 ○ICT機器を活用して、調べたいことをまとめ、表現することが得意である。 ●自主的に考え、答えを導き出そうとする力が低い。 ●話し合いの仕方が分かってない児童が多い。 | ①自分の考えや意見を根拠を持って表現することができる。 ②話し合いの仕方を理解し、意見をまとめることができる。 | ①根拠を話しながら意見を言ったり、タブレットやホワイトボードを使って考えを伝えたりできる場を設定する。 ②話形や話し合いの仕方を提示し、活発に話し合いができるようにする。 | | | |

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|--|--|---|---------|----------|-------------|
| ○宿題等与えられた課題に対しては、真面目に取り組む児童が多い。 ●人の話を興味を持って聞こうとする児童が少ない。 ●将来に対して具体的な目標がなく、競う気持ちや挑戦する意欲が低い。 | ①人の話に興味を持って耳を傾けることができる。 ②自分の将来像を持ち、それに向かって努力することができる。 | ①授業中だけでなく、朝や帰りの会や学活で最後まで話す、聞くといった指導を繰り返し行う。 ②総合的な学習の時間や生活科で様々な体験をしたり、ゲストティーチャーを招いたりして地元愛を育て、自分の目標や将来について考える機会を設ける。 | | | |

令和6年度 学力向上ロードマップ

